

平成 30 年度第 2 回奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会議事録（要旨）

日時：平成 30 年 1 月 19 日（月）14:00~14:45

場所：ホテル日航奈良「天空」の間

【議案第 1 号 平成 30 年度の実施計画（案）について】

議案第 1 号について、全員一致で承認。

審議概要

甘利委員)

県内市町村がこぞって参加してもらっている事をうれしく思う。各市町村が、自分たちの地域をPRしてもらおう機会にしてもらえればと考えている。このイベントには、観光客はもちろん多くの県民も訪れる。県民の方々に知ってもらおう大きなチャンスとなるので、各市町村に訪れてみたいとおもうきっかけ作りをして欲しい。特にあったかもんについては、実際の店舗に訪れて食べてみたいというような風にしてもらいたい。

山村委員)

広陵町の大垣内立山を参考にしてこのイベントを企画してもらっており、大変うれしく思っている。大垣内の立山は夏の催しであるため、始めは冬のイベントに参加するのは戸惑っていたようだが、今では、意欲満々で準備をしてもらっている。

あったかもんのテントのスペースについて、参加者より広くしてもらいたいという話を聞いているので、配慮して欲しい。

確認だが、あったかもんについて出店者の名前を公表して、PR等に使用して良いという認識で良いか。

事務局)

おっしゃるとおり。出店者の店舗名等を公表してPRしておくことで、イベントの後に現地に訪れてもらう事を考えている。

中西委員)

新しい会長の下、中身が非常に洗練されてきたことはありがたく思う。外国人観光客に来てもらうために、広報はどのようにしていくつもりか。

事務局)

外国人観光客については、我々事務局としても大事な層だと考えている。事務局だけでなく、平城宮跡の管理をしている国交省も同じく重要だと考えている。昨年以上にインバウンドにも楽しんでいた

だけのような取り組みをしていきたい。

中西委員)

奈良公園周辺にはとても多くの外国人観光客が訪れている。彼らの目に届くような外国語版チラシを展開すれば、賑わいになるのかなと思う。このイベントが、奈良の冬の夜を楽しんでもらえるような催しになればよいと考えている。

石川会長)

このイベントで終わりではなくて、その後いかに訪れてもらうか、次に繋げていくかについて、企画運営部会としては考えている。その取り組みとして、ご縁つなぎなるものを計画している。詳細については、中心になって取り組んでいる平井委員より説明いただく。

平井委員)

39市町村から食べ物や祭りが一堂に会する本イベントについて、来場者に楽しんでもらうだけではもったいないと感じた。観光見本市としての要素があると考えている。

そのため、影響力のあるメディア・旅行会社・SNS等インフルエンサー等の方に一人でも多く来てもらい、奈良のすばらしい部分をより広く広めてもらう機会にしたいと考えて、ご縁つなぎを計画している。

上記の方々が市町村の職員等と交流して、様々な情報を入手し、それを発信してもらいたいと考えている。